



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場会社名 株式会社 田谷

上場取引所 東

コード番号 4679 URL <http://www.taya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田谷 和正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員経営企画推進室長 (氏名) 田代 久士

TEL 03-5772-8411

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,493	△1.2	452	83.9	452	93.5	164	677.7
23年3月期第3四半期	9,604	0.7	246	—	233	—	21	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	32.58	—
23年3月期第3四半期	4.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	8,754	4,462	51.0	882.35
23年3月期	8,479	4,408	52.0	871.77

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,462百万円 23年3月期 4,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	1.1	510	144.1	505	159.1	180	—	35.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	5,100,000 株	23年3月期	5,100,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	42,895 株	23年3月期	42,860 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	5,057,132 株	23年3月期3Q	5,057,140 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災以降停滞していた生産活動は回復に向かいつつあるものの、欧州の財政不安等による世界的な景気の停滞や歴史的な円高・株安の進行により、日本経済の先行きは引き続き不透明な状況で推移しております。

美容業界におきましても、個人所得の低迷や雇用環境への不安により、消費者マインドは節約ムード・生活防衛意識が継続しており、経営環境は極めて厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社といたしましては、『他喜力』をスローガンに、このような時期だからこそ、美容を通じて多くの方々が“笑顔”になっていただけるように、全社員の技術力・接客能力の向上や、新しいサービスの提供に努め、「お客様に喜んでいただき、選んでいただけるサロン作り」に取り組んでおります。

美容施術では、当社独自のヘアカラーの新色の発売や、パーマテクニックの開発などによる、お手入れが楽でスタイリングしやすい季節に応じたヘアデザインの提案や、毛根からのケアによる髪の健康を促進する新しいヘアトリートメントの導入など、お客様に喜んでいただけるメニューの提供に努めてまいりました。

また、四季のオリジナルヘアケア商品として、夏季限定「スパークリンググレープフルーツ」「キュラソーオレンジ」、秋季限定「オートムマジック」、冬季限定「コフレディヴェール」の各シリーズのシャンプー&トリートメントを発売してまいりました。

店舗につきましては、「TAY A心斎橋店」を移転オープンし、一方、「Shampooアトレ四谷店」を館の全面改装に伴い閉鎖いたしました。これにより当第3四半期会計期間末の店舗数は、美容室146店舗と小売店1店舗であります。

また、従来からの材料使用量の厳正化や人材育成・適正人員配置による生産性の向上、節電や無駄なコストの削減など収益体質の強化を推し進めてまいりました。

以上の結果、当社の第3四半期累計期間の業績は、売上高9,493百万円（前年同期比1.2%減）となり、営業利益452百万円（前年同期比83.9%増）、経常利益452百万円（前年同期比93.5%増）となり、四半期純利益は164百万円（前年同期比677.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期会計期間末の総資産は8,754百万円となり、前事業年度末と比べて275百万円増加いたしました。

流動資産の残高は2,816百万円となり、前事業年度末と比べて447百万円増加いたしました。固定資産の残高は5,938百万円となり、前事業年度末と比べて172百万円減少いたしました。主な増加は、現金及び預金の増加372百万円、売掛金の増加118百万円、主な減少は、支社、店舗の移転や閉鎖及び減価償却による建物の減少125百万円、敷金及び保証金の減少30百万円であります。

当第3四半期会計期間末の負債総額は4,292百万円となり、前事業年度末と比べて221百万円増加いたしました。

流動負債の残高は2,570百万円となり、前事業年度末と比べて395百万円増加いたしました。固定負債の残高は1,721百万円となり、前事業年度末と比べて173百万円減少いたしました。主な増加は、長短借入金の純増271百万円、支払手形及び買掛金の増加42百万円、主な減少は、賞与引当金の減少105百万円、社債の減少96百万円、未払法人税等の減少54百万円であります。

当第3四半期会計期間末の純資産は4,462百万円となり、前事業年度末と比べて53百万円増加いたしました。以上の結果、自己資本比率は前事業年度末52.0%から51.0%に減少いたしました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績につきましては、平成24年1月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で発表いたしましたとおり、平成23年度税制改正法及び復興財源確保法が公布され、平成24年4月1日以降開始する事業年度より法人税率が変更されることに伴い、平成24年4月1日から開始する事業年度以降において解消が見込まれる一時差異については法定実効税率が変更され法人税等調整額が増加するため、修正を行いました。

なお、通期の業績予想の詳細は平成24年1月27日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年 3 月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,521,609	1,893,715
売掛金	472,748	591,474
商品	48,941	60,537
美容材料	30,832	37,282
その他	295,140	234,175
貸倒引当金	△915	△915
流動資産合計	2,368,356	2,816,269
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,848,395	1,723,288
土地	1,377,828	1,377,828
その他（純額）	74,409	60,465
有形固定資産合計	3,300,634	3,161,582
無形固定資産	41,309	68,060
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,152,514	2,121,547
その他	633,082	602,079
貸倒引当金	△16,735	△15,235
投資その他の資産合計	2,768,860	2,708,391
固定資産合計	6,110,804	5,938,034
資産合計	8,479,161	8,754,303

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	399,506	442,225
短期借入金	106,900	294,167
1年内返済予定の長期借入金	341,579	458,655
1年内償還予定の社債	126,000	128,000
未払法人税等	186,763	131,798
賞与引当金	218,810	112,931
資産除去債務	—	12,236
その他	796,039	990,761
流動負債合計	2,175,598	2,570,776
固定負債		
社債	278,000	180,000
長期借入金	940,423	907,749
退職給付引当金	361,375	367,963
資産除去債務	189,132	182,261
その他	125,977	83,414
固定負債合計	1,894,908	1,721,388
負債合計	4,070,506	4,292,164
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,480,180	1,480,180
資本剰余金	1,702,245	1,702,245
利益剰余金	1,344,861	1,398,369
自己株式	△118,632	△118,655
株主資本合計	4,408,654	4,462,139
純資産合計	4,408,654	4,462,139
負債純資産合計	8,479,161	8,754,303

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	9,604,132	9,493,233
売上原価	8,249,780	7,942,616
売上総利益	1,354,351	1,550,616
販売費及び一般管理費	1,108,296	1,098,154
営業利益	246,055	452,462
営業外収益		
受取利息	1,478	1,059
不動産賃貸料	8,092	8,248
その他	19,936	21,159
営業外収益合計	29,507	30,468
営業外費用		
支払利息	25,525	22,264
不動産賃貸費用	8,006	5,136
社債発行費	6,024	—
その他	2,410	3,514
営業外費用合計	41,967	30,915
経常利益	233,594	452,014
特別損失		
固定資産除却損	2,552	5,396
減損損失	15,585	22,081
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	85,671	—
その他	—	4,650
特別損失合計	103,809	32,127
税引前四半期純利益	129,785	419,887
法人税、住民税及び事業税	104,373	184,627
法人税等調整額	4,226	70,495
法人税等合計	108,599	255,123
四半期純利益	21,185	164,764

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(開示の省略)

四半期キャッシュ・フロー計算書、セグメント情報、その他の注記事項、補足情報等は、第3四半期決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。